

IT 活用実践事例

高 校
教 員
S Q S

学力向上対策としてのS Q Sの活用 2

～ S Q Sの普及を目指して～

実践者 宮城県涌谷高等学校 教諭 小野寺 基好

1 学習の概要

キーワード

学校評価支援システム

簡易 マニュアル

練習用エクセル

センター入試問題対策

IT 活用のポイント

- 1 使ってみたくなるような広報活動をする。
- 2 難しいという概念を取り払うこと。
- 3 熟達者が実際に使用してみせること。教えること。

研究名

S Q Sの普及

研究の目標

・システムが完成したものの、校内のみならず、県内全体において利用者、熟達者が少ない。この部分を少しでも解消し、S Q Sを誰もが利活用できる環境をつくること。

作成から使用の計画

- 1 7月 校内 教員用・生徒用 学校評価の実施
 - 2 8月 集計結果の速報版を職員会議に提出
 - 3 8月 S Q S 簡易マニュアル及びエクセルを利用したセンター入試過去問題の採点処理システム完成
 - 4 9月 国語の授業で授業評価実践
 - 5 11月 センター入試過去問題・生徒受検者募集教員向けにS Q Sについて説明する
 - 6 12月 校内 保護者用 学校評価の実践
第2回 校内 教員用・生徒用 学校評価の実施
- 評価後適宜 分析会をもつ。

S Q S簡易マニュアル

S Q S (学校評価支援システム)
簡易 マニュアルの説明

補助資料

宮城県 学校評価支援システムの情報サイト掲載のS Q Sマニュアル

S Q S簡易マニュアルの説明

ハード面

- 1 S Q Sのインストール
- 2 スキャンスナップのインストール
- 3 マークシート原稿の作成
- 4 マークシートの読み取り

ソフト面

- 1 アンケート処理の仕方
- 2 テストの採点処理の仕方
- 3 応用センター入試過去問題の採点処理
- 4 スキャナーとして使用法

2 実践のポイント！

SQS簡易マニュアル

SQS活用のためにスキャンナップが全部の高校に導入されてから3年目を迎えた。しかし、利活用する様子を伺い見ると、決して積極的な利活用をしているとは言えない。この原因として、SQSの操作は煩雑な作業を伴うというイメージがあること。現存のマニュアルの説明が初心者向きでないこと。アンケート処理以外に使えないと思われていることなどが考えられる。

そこで、初心者に優しく、ハードの準備から事後処理の仕方まで、一連の流れを簡単にまとめたマニュアルを準備することとした。

学校評価・授業評価・各種調査

基本は、学校評価である。学校評価については、平成14年度の試行も含めれば、すでに5年目を迎え、担当者頼みとはいえ、SQSが活用されている。

授業評価については、現在積極的な導入が目標とされている。個人がいつでも気軽にSQSを使って、評価できる体制が理想である。

その他、単元調査にも有効である。自分の授業を生徒がどれだけ理解できているのかをテストを迎える前につかむ必要がある。そのためには、まずまず個人のスキルが必要である。

各種テスト・センター対策

SQS活用に広がりをもたせることで、学力向上に役立てることができる。と考える。

例えば、小テストをマーク式にして、処理を簡単にすることにより、回数を多くこなせるようにする。

センター入試問題に慣れるために、生徒に過去問題に多く取り組ませ、教員が採点処理を楽にできるようにする。

今回は、練習用エクセルファイルとセンター入試問題得点処理システムファイルを作成した。

スキャナーとしての活用

スキャンナップはマークシートを読み取るだけの機械ではないことを認識してもらう。使い方は、マークシートの読み取り方と何ら違いはない。この、カラー・スキャナーとしての活用をすることにより、生徒作品のポートフォリオ、業務上の書類の整理を行うことができる。

3 子どもたちは？

子どもの姿

現在、宮城県の大学等への進学率は全国の底辺にある。様々な方法で、生徒の学力向上や学習意欲の向上を考える必要がある。その一助となるように、SQSの利活用がなされれば、本県の課題に少しでも役立つと思われる。

昨年度よりの継続研究のまとめ

昨年度は、学年内の学習意識調査、自分の教科の授業評価と単元評価をとおして、SQSの活用法を探った。今年は、さらに研究を進めてSQSの普及から応用の仕方までを探った。